

消防初式 永年勤続者を表彰

防組出初式は四日午前六時、永年勤続功勞者、十五年組頭以下全組員百五十名、集合の上舉行した。荒井井上組頭の訓示後恒例に子のぼりのはなれ業を行人を喜ばせ町内を練り歩一時新川に於て各ボンブなる放水試験をなし更に時から聚樂館に於て功勞優良火防組合の表彰式をつてから新年祝宴を催し時盛會裡に散會した。被左の如し。

植田の殺人事件

監察も知らなかつた

從妹を絞殺して海中に投す

◎ 嘉七

○ 優良火防組合 田町火防組  
田義恵 ▲ 十年同廣木正一  
辻金太郎 ▲ 十五年同大河原敏雄  
助 ▲ 十年藤田專吉 ▲ 十年同  
田義恵 ▲ 十年同廣木正一  
辻金太郎 ▲ 十五年同大河原敏雄  
年同大河原敏雄 ▲ 十年同  
嘉七

搔鉗小路、長橋町、三丁目  
南町、材木町

我の快樂に耽り  
従妹が遂に姫姫  
おびき出して墓地で絞殺  
性なる殺人事件の原因  
人徳藏の陳述してゐる右の殺人事件に就いて新任  
は、被害者うたは昨年植田署長は語る。  
家に手傳に來てゐる内  
方と戀知らぬ處女との  
から互に誘惑され不義  
呪つてゐたが、うたが  
ことを知つた徳藏は今  
張したが六ヶ月の身重  
は所詮隠しきれず徳藏  
あるのでその處置に

正月二日早々  
赤井で自殺と轢死

圍碁大會

我國の労働團體に於て公然宗教排撃の決議を見たのは一昨年夏、労働總同盟大阪聯合會の大會の「工場に於ける御用宗教の潜入排除」が始めて、あつた、これはレーニンの所謂ブルヂヨア民主主義を奉する社會民衆黨所屬であつて、正統マルキニズムの徒ではなかつた、吾人は更に三・一五事件直前散布されたと云ふ、寺「院の土地沒收のピラの聲明を想起せねばならぬ、此の主張は黨の潰滅と共に雲散霧消したと合點してはならぬ事柄だ、理論的にラヂカルな社民黨の進出、實際的によりラ

奇異なさに就て宗教家を責める権利はないのである。又陳辯これ努める宗教家も徒らに欺瞞の罪を重ねる事になる。

現代の僧侶は種々の意味に於て、非常な難局に立つて居る。そして色々の方面から種々の難問題を投げかけられて即時解決する可く迫られてゐる苦境に在る、それ故自分が平生その無氣力を惡罵しても理解のない門外漢から頭こなしに毒づいて來られる事、たまらない痛憤を感じざるを得ない擾合がある、それは兎も角今其の最も急を告げつゝあるのは社會思想から宗教に對して投げかけられて居る問題である。

▲長橋町區議改選 平  
福島縣石城町越後町十四  
編輯兼發行人 岡田弘成  
印 刷 人 岡田弘成  
福島縣石城郡平町純屋町十四  
刷 所 加納活版所  
福島縣石城郡平町純屋町十五  
發 行 所 純屋町十五  
一部金武錢一ヶ月金五十錢  
日刊料一元四十字詰金五十錢  
（日曜、祭日）休刊

町長橋町では五日前八時から同町川角區長宅で區會議員の投票を行つた結果左の如く決定午後一時から尼子亭で新年宴會を開いた。

川崎文治、小野圓次郎、關内半平、渡邊富三、遠藤松之助、松本熊五郎、小沼春吉、遠藤柳之助、高子教藏、小野富吉

ねて自首したもので、當局も大狼狽を極め刑事課及び平檢事局植田警察署は俄然大活動を開始し、五日早朝から兇行現場の墓地や勿來海岸の實地検證を行ひ更に關係各方面の取調べ等近來に無い異狀の緊張を見せて居る

虚構の自己、何しろ珍ら  
事件です、署員に聞いて是  
が當時同人等の検査願は出  
るませんでした。

## 宗教の改心

山田(八勝三負)▲三等貳  
(七勝四敗)▲四等田綱(六勝五敗)▲五等駒塙(同上)

## 宗教の改心

中島政美

自らの生活に於て宗教の必要を少しも感じてゐない者でも宗教が社會的に何等かの寄與を爲さなくてはならないことを考へるのが、よく宗教家にその活動の足らない事を責める。宗教家はその度毎に面目なささうにして色々と陳辯する、此の二つの場合には何れにも間違つてゐる點があるやうだ。

デカルトマルキストの思想展開等をおふも時、此宗教家とは敢て云はぬ、僧侶たる僧侶は自身が御得意の觀念上の工夫より更に、其生活内容に大なる反省を廻らす可き事となるのである。

口

今日では僧侶も牧師も自らの生活を自らの宗教を以て規制しては居らぬやうだ、生活は殆んど實際の白狀である。まして普通人は始めから生活は生活、宗教は宗教と云ふのが故實は最初から宗教の社會

